



当院 呼吸器科 非常勤  
東京医科大学 呼吸器外科  
甲状腺外科 講師 医局長  
萩原 優 先生

## ? インフルエンザについて 教えてください

### Q3

#### 流行の時期って？

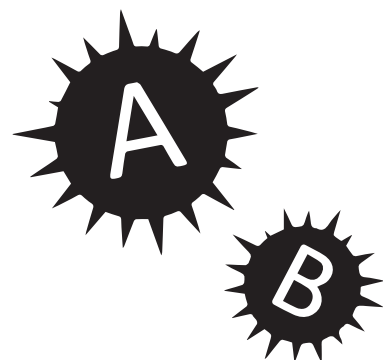
日本では主に冬季を中心に12月から3月ごろが流行のピークになりますが、その年によって異なります。



### Q2

#### インフルエンザには種類があるの？

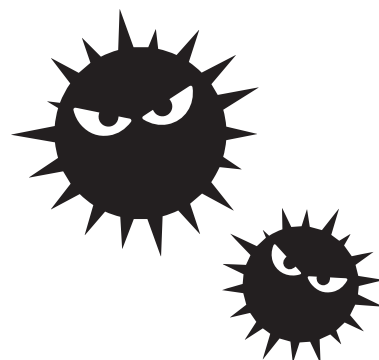
通常ヒトに感染するインフルエンザウィルスはA型、B型に分類されます。



### Q1

#### インフルエンザとは？

インフルエンザウィルスを病原体とする急性の呼吸器感染症のことです。



### Q6

#### かぜとは違うの？

かぜは様々なウィルスによる上気道の感染症でインフルエンザと同様の咳やのどの痛みを中心とした症状が出現しますが、インフルエンザに比べ、症状の出現、増悪は比較的緩やかです。症状の出現の仕方は様々なので、インフルエンザとの判別が難しいこともあります。



### Q5

#### どんな症状がでるの？

咳やのどの痛み38度を超える高い発熱、全身倦怠感、頭痛、関節痛、筋肉痛などの症状が、短時間に急激に出現することが特徴です。



### Q4

#### どうやって感染するの？

咳やくしゃみによる飛沫を吸い込むことによる「飛沫感染」。感染した人が触れた直後のもの（ドアノブなど）に触れ、その手に付着したウィルスが目、鼻、口に触れることにより体内に入り感染する「接触感染」があります。



## 特集 インフルエンザ

これからの季節は特にご注意ください！





# インフルエンザの予防方法

## 流行が始まったら



人の集まる場所から帰ったら流水での手洗いやアルコールでの手指消毒がウィルスを除去するのに有効です。また、抵抗力を低下させないため、栄養、睡眠を十分にとることが大切です。感染の可能性があります、咳が出る場合はマスクを使用するなどして咳エチケットを心がけることで、感染の拡大を少なくすることができます。

## 流行が始まる前



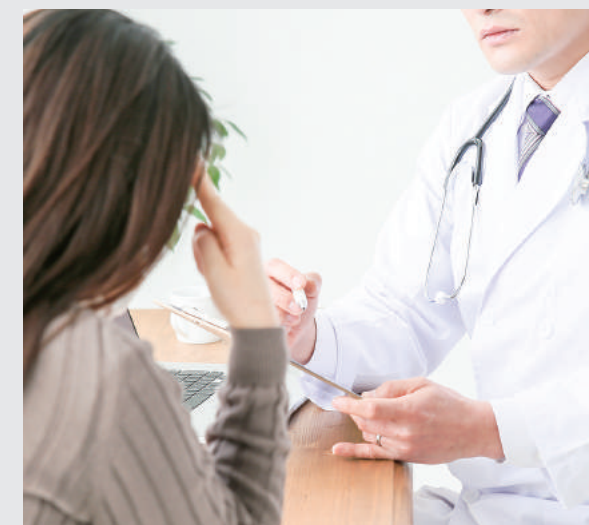
ワクチン接種が有効です。完全に感染、発症を防ぐことはできませんが、多くの人がインフルエンザワクチンを接種することで感染、発症する人を減らし、重症化する人を減らすことができます。インフルエンザワクチンは、その年に流行するインフルエンザウィルスを毎年予測し、予防接種のためのワクチンが作られます。

## お薬について



インフルエンザウィルスが同定され、発症から48時間以内であれば、抗インフルエンザウィルス薬が有効です。内服薬や吸入薬、点滴のお薬があります。その他、熱やのどの痛み、咳などの諸症状を和らげるための薬を処方することもあります。

## 病院でできること



インフルエンザを疑う症状がみられる患者さんに対して検査を行い、ウィルスが証明されれば、抗インフルエンザウィルス薬を投与することができます。ただし、発症直後は、ウィルスの量が少なくウィルスを同定できないこともあります。

## 感染した家族の注意点



普段健康な方がインフルエンザにかかっている場合は、水分摂取や安静、周囲への感染の拡大を防ぐことを重視してください。

高齢者や糖尿病や心臓疾患、呼吸器疾患その他の重篤な併存疾患を有する患者さんの場合、右記の合併症の発症に注意してください。また、5歳以下の小児の場合、脳症の合併に注意するため、異常行動、異常言動、意識障害がないかなども観察する必要があります。

## 感染後の経過について



普段健康な方であれば、発症後数日で熱が下がります。少なくとも解熱後2日くらいは周囲との接触を控えることが望ましく約1週間以内で軽快することが多いです。

ただし、高齢者や併存疾患のある患者さん、抵抗力の弱い状態にある患者さんは、気管支炎、肺炎、胃腸炎などを合併、また2次感染に発展するリスクが健康な方より高いです。また、5歳以下の小児はインフルエンザ脳症にかかる危険性があります。

## インフルエンザの 予防接種が始まります

### 予約期間

平成30年10月15日～  
平成31年1月12日

### 接種期間

平成30年11月6日～  
平成31年1月31日

### 予約方法

総合受付で予約を受け付けております。  
※予約なしでの接種は出来ません  
※15歳以上の方が対象です

### お問い合わせ

公益財団法人 会田病院 医事課  
TEL 0248-42-2121 (代表)

## 「大切なこと」



ご自身が感染、発症した場合、インフルエンザは感染力の強いウィルスであることを認識し、自身の病状改善のための努力とともに周囲への感染拡大を防ぐ努力も必要です。自身の体調が改善したからと言って、解熱後すぐに仕事や人との会合に出向くなどの行動を控え、少なくとも2日くらいは自宅で安静にしてください。仕事などへの支障を心配され、症状があっても職場へ赴いたり、解熱後すぐに出勤するなどの行為は、かえって職場内での感染を拡大し、業務への影響は大きくなります。職場やグループなどで感染拡大の予防に関する意識を高め、実行していくことが大切です。必要があれば病院での診断や診断書の作成も可能ですので、ご相談ください。

## (参考) 代表的なインフルエンザの治療薬

| 製品名                                                                                                 | 投与経路 | 用法用量<br>(成人)                                                                                        | 用法用量<br>(小児)                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>ゾフルーザ</b><br>   | 経口   | <b>【用法】</b><br>・1日1回 1日のみ<br><b>【用量】</b><br>・体重 40kg～80kg の方<br>1回 40mg<br>・体重 80kg 以上の方<br>1回 80mg | <b>【用法】</b><br>・1日1回 1日のみ<br><b>【用量】</b><br>・体重 10～20kg の方<br>1回 10mg<br>・体重 20～40kg の方<br>1回 20mg               |
| <b>タミフル</b><br>  | 経口   | <b>【用法】</b><br>・1日2回 5日間<br><b>【用量】</b><br>・1回 75mg                                                 | <b>【用法】</b><br>・1日2回 5日間<br><b>【用量】</b><br>・幼小児(体重 1kg あたり)<br>1回 2mg(成分として)<br>・新生児・乳児(体重 1kg あたり)1回 3mg(成分として) |
| <b>イナビル</b><br>  | 吸入   | <b>【用法】</b><br>・1日1回 1日のみ<br><b>【用量】</b><br>・1回 40mg (2容器)                                          | <b>【用法】</b><br>・1日1回 1日のみ<br><b>【用量】</b><br>○10歳未満<br>1回 20mg (1容器)<br>○10歳以上<br>1回 40mg (2容器)                   |
| <b>ラピアクタ</b><br> | 点滴   | <b>【用法】</b><br>・1日1回 1日のみ<br><b>【用量】</b><br>・1回 300mg を点滴                                           | <b>【用法】</b><br>・1日1回 1日のみ<br><b>【用量】</b><br>・体重 1kg あたり<br>1回 10mg                                               |